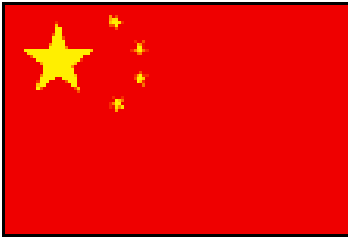




八王子国際フレンドからのメッセージ



中国



プロフィール

名前：応 婧超（オウ セイチョウ）
出身地：浙江省縉雲（シンウン）県
日本在住：10ヶ月
趣味：書道、読書、旅行



日本での暮らし紹介



去年の今頃、私は日本に行ったら、どんな生活が待っているのだろうと不安と期待を抱きながら、留学の準備をしていました。今になって、私は日本に来て良かったと言い切ることができます。

春夏秋冬、四季がこんなにはっきりしていると感じたのは、生まれて初めてのことです。季節に従って、桜、アジサイ、彼岸花、紅葉、ススキなどが順番に咲き誇り、自転車に乗りながら一年中異なる景色が楽しめます。こんな美しい日本が私は大好きです。

日本に来て初めて分かったことは、ほかにもたくさんあります。

例えば、日本の柿は硬いことや、日本人は鍋の最後にご飯と生卵を入れること、日本のトイレは不思議に思うほどいろいろな機能がついていることです。

その中で、日本の一番良いところは、人を大切にすることだと思います。

どこに行っても心のこもったサービスが受けられ、安心して気持ちよく手続きや買い物をすることができます。車の運転の優しさもとても印象的でした。

中国で道を歩く時は車が通り過ぎるのを待っていたのですが、日本では車が私に道を譲ってくれます。こんなやさしい日本、私も大好きです。

これから中国に帰るのですが、いつか必ず両親を連れて、また日本に来て、日本の良さをもっと多くの人に伝えていきたいと思います。

故郷の紹介

私は浙江省の南にある小さな町、縉雲（シンウン）県に生まれ育ちました。

縉雲（シンウン）という地名は、中華民族の始祖・黄帝（こうてい）の号に由来するそうです。したがって、縉雲（シンウン）はその言い伝えによって長い歴史を有し、黄帝文化ゆかりの場所として知られています。

縉雲（シンウン）に来たら、是非行った方が良いところはどこかというところ、それは疑いなく「仙都」になります。文字が示している通り「仙人が集まる都」と唐の玄宗に評価されたことがあるそうです。

仙都は美しい山水に恵まれ、古くから白居易など多くの文人を魅了し、数多くの芸術作品の中で賞賛されてきました。



美しい仙都の景色

現在でも、映画とテレビ界で天然のスタジオとされて、ここで撮られた映画やドラマは少なくありません。さらに、2000年になってからは、中国最初のAAAA級観光地として、登録されました。



仙都で撮影した名ドラマ『仙剑奇侠传』

その中で、一番の見所は「鼎湖峰」です。鼎湖峰は高さ170.8メートル、春の筍のようにまっすぐに空を突き刺しています。

人呼んで「天下第一峰」。頂上には一年中乾かない湖があつて、何千年も前に黄帝が丹薬（たんやく）を作る時に残した痕跡だと言われています。



有名な「鼎湖峰」の姿

また、黄帝が修業して仙人となった場所として、仙都では毎年の旧暦9月9日に「黄帝文化祭」が行われます。

2011年には、中国無形文化遺産としても登録されました。

縉雲（シンウン）は、中国において小さな町ですが、私の愛する故郷です。

チャンスがあれば、ぜひ、皆さんに足を運んでいただきたいと思います。



色鮮やかな「黄帝文化祭」